

(第3号様式)

## 会 議 要 旨

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 会 議 名     | 令和3年度 第2回館山市社会教育委員会議   |
| 開 催 日     | 令和4年2月4日(金) 午前10時00分から |
| 開催場所      | 館山市コミュニティセンター1階 第1集会室  |
| 出 席 者     | 社会教育委員8名、教育長、事務局3名     |
| 公開・非公開の別  | 公開                     |
| 非公開の場合の理由 |                        |
| 傍 聴 者     | 0 名                    |

### 【会議概要・結果等】

#### 1. 開会

#### 2. 教育長あいさつ

日頃より社会教育へのご理解やご支援、ご協力を頂き、感謝申し上げます。

令和に入り、元年度は台風及び大雨の被害があり、2・3年度は新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている状況にある。一般社会も大きく影響を受け、教育委員会としても、学校教育や社会教育、社会体育施設や公民館の利用、様々な行事等も縮小や中止をしている状況である。しかし、少しでも実施できるように、感染防止対策をとった上で、今回の会議を設定した。

教育について印象に残っている言葉がある。小渕内閣の諮問機関である教育改革国民会議の方針の中に出てくる「教育という川の流れの、最初の水源の清冽な一滴となり得るのは、家庭教育である。」という言葉である。教育の原点は家庭教育であり、それを包括するのが社会教育である、という意味で捉えている。学校教育においても、家庭教育、社会教育が十分力を発揮できるよう、補完し合いながら実施していきたい。学校教育に限らず、大人になっても常に学ぶ姿勢が大切であり、地域の力・社会の力というのは大きいものがある。そのため、委員の皆様からご意見を頂ければと思う。

#### 3. 議事

##### (1) 令和3年度社会教育・社会体育実施事業報告について

生涯学習課、博物館、図書館、中央公民館、スポーツ課より令和3年度実施事業について書面報告。

その後、質疑、意見交換

##### (2) 館山市社会教育委員の委嘱替えについて

##### (3) その他

#### 4. 閉会

### 【質疑応答・意見等】

(委員)「学校支援ボランティア」について2点質問がある。

1点目、資料には登録者453名とあるが、これは令和3年度の登録者か。そうであれば、令和2年度の登録者数と活用者数を教えてほしい。

2点目、昨年度の会議資料には、令和元年度の登録者が590人、活用者が649人と記載があり、登録者が大幅に減っている。これは、ボランティアの高齢化によるものやコロナ禍が影響しているものと考えられる。しかし、市民の教育への参加は学校の教育力・指導力を補充するのに、大変有効である。また、教員の働き方改革の方法の1つとしても、大いに有効であると考え。広く周知し、ボランティアの確保に努めてもらいたい。また、学校の管理職にも、活用するよう推奨してもらいたい。

(生涯学習課回答) 1点目について、資料記載のとおり、令和3年12月末時点の登録者数である。

2点目について、令和2年度登録者数は470人、活王者数は595人。今後とも校長会での周知、広報やホームページ等を活用し、登録者数の増加や活用の促進に繋げたい。

（委員）地区花壇運営事業に参加している。何回か苗の生育が悪く、植え付けの際に困ることがあった。配付されたものだけでなく、購入したものを植えたこともある。花の種類に適した時期での配付等、検討してほしい。

（生涯学習課回答）苗の生育の件は大変失礼した。時期や種類を検討していきたい。

以 上